

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：異文化間教育入門 ILAS Seminar :An Introduction to Intercultural education	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,NISHIYAMA NORIYUKI		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	10 (10)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Mon.5
<b>Classroom</b>	Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. (South Wing), Seminar Room 216			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	言語教育 / 異文化間コミュニケーション / 外国語教育 / 日本語教育				

( Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department. )

#### [Overview and purpose of the course]

この授業は、多文化共生社会における日本語教育と国際社会の中で異文化間教育の考え方を参照し、異文化間教育のあり方を考察する。異文化理解や異文化という言葉はしばしば耳にするが、異文化間教育とはなんだろうか。また日本の中での異文化間と日本語教育はどのような関係にあるのだろうか。このような疑問をともに考えたい。

#### [Course objectives]

異文化間教育の課題を把握し、各国がそれぞれどのような課題を解決するために言語教育を進めているのか検討する。

#### [Course schedule and contents]

受講者による教科書の発表と討論を中心に行い、以下の項目を学習する。

前半『やさしい日本語 多文化共生社会へ』（第2回から8回）

第1章 移民と日本

第2章 やさしい日本語 の誕生

第3章 やさしい日本語 の形

第4章 外国にルーツを持つ子どもたちと やさしい日本語

第5章 障害をもつ人と やさしい日本語

第6章 日本語母語話者と やさしい日本語

第7章 多文化共生社会に必要なこと

後半『異文化間教育』（第9回から第15回）は受講生による発表、

第1部第1章 文化の諸相

第2章 多文化主義への疑問

第3章 異文化間主義の捉え方

第2部第1章 教育学における多元主義の傷跡

第2章 一連の異文化間性

結論 多様性を目指す人文主義に向けて

授業はフィードバックを含め全15回とする。

Continue to ILASセミナー：異文化間教育入門(2)

ILASセミナー : 異文化間教育入門(2)

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

授業での発表(50%)並びにレポート(50%)による。

**[Textbooks]**

庵 功雄 『やさしい日本語 多文化共生社会へ』(岩波新書)  
マルティヌス・プレツェル 『異文化間教育』(白水社(文庫クセジュ))

( Related URL )

<https://noriyukinishiyama.com>(西山教行研究室)

**[Study outside of class (preparation and review)]**

教科書を予習する。パワーポイントを利用した個別発表おこないますので、準備が必要です。

**[Other information (office hours, etc.)]**